

病理診断科



専門医資格等
病理専門医、研修指導医
細胞診専門医
死体解剖資格

病理診断科長
寺島 剛



専門医資格等
病理専門医
細胞診専門医
死体解剖資格

病理診断科長
森吉 弘毅

平成29年4月1日現在

□ スタッフ

平成28年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等
主任臨床検査技師	楠木 秀和	日本細胞検査士 国際細胞検査士
主任臨床検査技師	池田 俊彦	日本細胞検査士 国際細胞検査士
臨床検査技師	大上 哲也	日本細胞検査士 国際細胞検査士
臨床検査技師	谷畑和可苗	日本細胞検査士
臨床検査技師	永阪麻衣子	
臨床検査技師	片山 由衣	日本細胞検査士

□ 科の特徴

1. 病理医2名でダブルチェックを行い、診断精度の向上を図っています。
2. 細胞検査士の資格を持つ検査技師と協力し、細胞診業務を行っています。
3. コンサルテーション等で京大病院病理診断科との協力体制を築いています。
4. 組織診、細胞診、術中迅速診断、病理解剖、CPCのいずれについても正確かつ迅速な診断を心がけています。
5. カンファレンス等を通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 診療(業務)内容

1. 組織診断：生検や手術によって採取された検体に対し、良悪性の判定、炎症の有無などを調べ、診断名を確定します。また、治療効果や腫瘍のステージ、転移の有無などの判定を行い、以後の治療方針の決定に役立てています。2016年は7640件の組織診断を行いました。
2. 細胞診：子宮頸部擦過、尿、喀痰、甲状腺やリンパ節の穿刺などによって得られた細胞を観察し、良悪性の判定を行います。2016年は7722件の細胞診を行いました。
3. 他院標本診断：セカンドオピニオンや転院によって当院を受診された患者さんが持参された標本を改めて検討し、診断の確認を行っています。2016年は組織診140件、細胞診38件の他院標本診断を行いました。
4. 術中迅速診断：手術中に提出された検体を15-20分程度で診断し、手術範囲や術式の決定に役立てています。2016年は401件の術中迅速診断を行いました。
5. 病理解剖：亡くなられた患者さんのご遺体を解剖し、病態を詳しく調べて、生前に分からなかった事も解明しています。2016年は17件の病理解剖を行いました。

6. CPC:臨床各科と合同で病理解剖症例の検討を行い、様々な視点から病態を調べて、今後の診断や治療に役立てています。また、研修医と共に発表を行い、医学教育に寄与しています。
7. カンファレンス:臨床各科と定期的にカンファレンスを実施し、臨床情報と病理所見の摺り合わせを行っています。また、手術検体の切り出しの際の外科医立ち会いや、個別症例についてのディスカッションを通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区 分	演 者・演 題・学 会 名
国内学会	森吉弘毅、山本鉄郎、南口早智子、伊藤美幸、川村洋介、新宅雅幸 漿液性腺癌との移行像を示す婦人科肝様癌の2例 第105回日本病理学会総会 2016.05.12 仙台

□ 投稿論文など

著 者	タイトル	著 書・雑 誌 名	vol.	No	page	発行年 および月
Imakita T, Fujita K, Kanai O, Terashima T, Mio T.	Small cell lung cancer transformation during immunotherapy with nivolumab: A case report.	Respir Med Case Rep.	21		52-55	2017.3
Fujita K, Hayashi K, Motoishi M, Sawai S, Terashima T, Mio T.	Giant mature teratoma in the mediastinum presenting with rapid growth.	Oxf Med Case Reports.	2016	12	omw093	2016.12
Fujita K, Terashima T, Mio T.	Anti-PD1 Antibody Treatment and the Development of Acute Pulmonary Tuberculosis.	J Thorac Oncol.	11	12	2238-2240	2016.12
影本善子, 服部ゆかり, 富地良樹, 寺島剛, 武内英二, 真鍋俊明	ビルダグリブチンにより掌蹠に水疱・びらんを生じた1例	皮膚科の臨床	58	8	1267-1269	2016.7
岡本 奈都子, 臼居 駿也, 渋谷 真美, 十一 英子, 奥野 芳章, 森吉 弘毅	芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の1例	皮膚の科学	15	1	1347-1813	2016.2
廣嶋 佳歩, 垣田 真以子, 臼井 健, 小笠原 辰樹, 馬越 洋宜, 立木美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄, 辻村 隆司, 安里 亮, 森吉 弘毅, 島津 章	治療に難渋した甲状腺疾患 甲状腺C細胞過形成段階での甲状腺全摘術を施行したRET遺伝子変異保持者の二症例	日本内分泌学会雑誌	92	1	188	2016.4
Kanae K, Miyake, Yuji Nakamoto, Tatsuki R. Kataoka, Chiyuki Ueshima, Tatsuya Higashi, Tsuyoshi Terashima, Koya Nakatani, Tsuneo Saga, Shunsuke Minami and Kaori Togashi	Clinical, Morphologic, and Pathologic Features Associated With Increased FDG Uptake in Schwannoma	American Journal of Roentgenology	207	6	1288-1296	2016.12
Kohei Fujita, Tsuyoshi Terashima, Tadashi Mio.	Anti-PD1 Antibody Treatment and the Development of Acute Pulmonary Tuberculosis	Journal of Thoracic Oncology	11	12	2238-2240	2016.12